

早稲田大学 グローバルCOE 「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点」
調査研究支援スキーム 成果報告

所属 アジア太平洋研究科 学年 博士3年 氏名 岸 保行

日程 2007年10月23日 ～2007年10月25日

渡航地(国・都市名)

中国・上海 復旦大学・新聞学院

リサーチ目的

グローバル化が国境を破壊し、国境を越えた人々の即時的な往来を可能にしたという議論が一方であり、他方でグローバル化がエスニシティを浮き彫りにし、国境が再構築されたという議論も存在している。本研究は、東アジアで中心的な役割を担う日本・中国・韓国の大学生——早稲田大学、復旦大学、高麗大学——の価値観、ライフスタイルを中心に見ていきながら、それぞれの国のエリート大学生の価値意識の変容を探ることを目的としている。

研究課題

本研究は、研究内容が東アジアの地域統合を指向しているだけに留まらず、これまで単独での研究活動が多かった日中韓の大学院生が共同して主体的に研究を進めていくといった観点から考えても、まさに「東アジアの地域統合」に貢献し得る研究であるといえる。申請者は、早稲田側の中心的なメンバーとして、高麗大学、復旦大学の大学院生と議論を交わしながら質問票の作成を進めた。具体的には、質問票作成のための仮説作りから、個々の質問項目に至るまで、入念に質問票の作成を3カ国の大学院生の話し合いのもとおこなってきた。去る10月24日には、上海・復旦大学において日中韓の大学院生が集まって質問票作成のためのキック・オフミーティングが開催された。各自のアイデアを持ち寄りながら質問票の原案を作成した。また、2008年2月19日に日中韓の大学院生によるジョイントワークショップの開催が決定された。三大学が質問票のデータ分析結果をもとに論文を執筆し、2008年2月19日に日中韓の大学院生によるジョイントワークショップの開催を早稲田大学にて開催することが決まった。

成果

2008年2月19日に日中韓の大学院生によるワークショップの開催を早稲田大学にて開催した。早稲田大学、高麗大学、復旦大学の大学院生がそれぞれ協働で集めたデータを分析し、研究発表をおこない、相互に意見交換をおこなった。早稲田側からは3本の論文、高麗側からは2本の論文、復旦側からは3本の論文がそれぞれ発表された。早稲田側からの一本を申請者が担当した。分析結果から得られた知見の要約は以下である。

East Asia has been rapidly undergoing modernization, driven by the force of globalization. The result of that process is that country values are converging, with values moving away from traditional to modern principles. Countries have been congregating towards various ideologies - "Meritocracy" in particular- as they continue to modernize. This study aims to shed light on how globalization influences the work values of undergraduate students in Japan, China, and Korea. These three countries share a Confucian background which leads to many interesting findings. Samples collected from Waseda, Fudan, and Korea Universities are examined using statistical analysis methods, and conclusions on the nature of East Asian values are postulated from the results. While East Asian values are converging, they are not completely integrated yet. Each country still possesses its own unique characteristics that separate it from the other nations. However, Japanese and Korean students were found to possess similar work values when compared to the Chinese students. Interestingly, Chinese students were discovered to have two conflicting ideologies: one of "Egalitarian Socialism" that places emphasis on the equality between people, and another of "Modern Meritocracy" that puts weight on individual development and reward. How Chinese students will reconcile this delicate balance in the future is a fascinating topic for future research.

以上は、私が担当した論文の要約であるが、別途本報告書に本資金を得て執筆したフルペーパーを添付する。

事業推進担当者確認 (署名・押印)

メイン

園田 茂人



サブ

香山 瑠璃



* A 42 枚以内。各項目のスペースはご自由に変更下さい。